



東日本大震災に伴う計画停電のため開催できなかった「アトリエ・パンセ アート・フェスティバル」が、今年のクリスマス=12月24、25日に開催されると聞いて、代表の奈良幸子さんにお話をうかがいました。

3月11日、木造2階建てのアトリエ・パンセの事務所も震度5弱の地震で大きく揺れました。幸い被害はなく、翌12日の絵画教室には元気な子どもたちがいつも通り集まったそうです。「こんな状況だからこそ、創作という前向きなことをする時間を子どもたちが、この空間で楽しめるなら、パンセなりの役割が果たせる」と、奈良さんは思いました。

しかし、3月19日から予定していた「アトリエ・パンセ アート・フェスティバル」が計画停電のために会場のルネこだいらが休館になり、開催できなくなりました。しかたなく、無事だったパンセの教室で、油絵作品、オカリナ、墨絵を中心にした「アトリエ・パンセ展」を19日から3日間開催しましたが、奈良さんの胸には重いものが残りました。

そんな中で、被災地支援を考えていた奈良さんは、気仙沼の沖に浮かぶ大島に住む知人の安否をたずね、パンセの子どもたちが描いた鯉のぼりの大きな旗を持って支援に行こう、と決意します。でも、それは簡単なことではありませんでした。地元の災害本部に支援の受け入れを認めてもらい、旅費や宿泊費をねん出し、大島の子どもたちに贈るクレヨン、パステル、サインペンなどを集め、市から「支援車両」の認定を受けて、やっと大島を訪ねられたのは、5月1日でした。

鯉のぼりが描かれた大きな旗を見て「こんな明るい絵を見たことがない!」と喜び大島の人たちから、お礼のお茶をいただきながら奈良さんは、胸のつかえがとれた思いがしたそうです。8月末になって、延期していた「アトリエ・パンセ アート・フェスティバル」を今年12月、クリスマスに開催できることが決まりました。

DATA

【アトリエ・パンセ アート・フェスティバル】
12月24日午後1時～午後7時、25日午前10時～午後7時、ルネこだいらで開催。教室に通う子どもから高齢者まで約60人の作品が展示されます。
絵画造形教室アトリエ・パンセ ●
こどもクラス：水曜ジュニアパンセ、木曜パンセ、土曜日ファミリーパンセ、プチ・パンセ、バギーパンセ、親子で楽しむアートな日曜日
大人のクラス：研究科、パンセレディー、絵のある暮らし彩墨画教室、アトリエ・やまゆり in 武蔵小杉
住所 ● 187-0022 小平市上水本町2-9-12
電話 ● 080-1166-2501 (奈良)
ホームページ ● <http://npo-pensee.chobi.net>

小平シニアネットクラブ

「シニアになったからといって家にひきこもって暮らす生活はしたくない」そういうシニアがパソコンを操っていきいきと毎日過ごしています。NPO法人小平シニアネットクラブ(略称KSNC)事務局の小澤玉男さんに活動の様子をお聞きしました。

私たちの人生はシニアと呼ばれるようになってからが長いのです。どのように過ごすかはその人の自由ですが、情報社会から取り残されるのは困ります。そういう時にパソコンは便利な道具です。メールやインターネットを覚えれば、遠方の友、子、孫とも話ができます。友達も増えます。生き甲斐も高まります。居ながらにして世界の様子もわかります。

KSNCは、小平市内の公共施設で会員向けICT技術の向上を目指して各種講座を開いています。先生役も講座を支えるサポーター役も皆さん講座で学んだ会員です。学んでいるうちに仲間ができて、地域別の勉強会、同好会、ミニサークル、ボランティア活動の会ができていったそうです。

なかでも小平十二小サポートボランティアは、平成14年から授業の一環として、KSNC、父母、地域の人で「(生徒が)困ったところを助けて」きました。この他にディサービスオリーブでのボランティア活動もしています。利用者に印刷物のパソコン操作を教えることから始まって、傾聴、うた、麻雀・囲碁の相手など活動は広がっていったそうです。また公民館主催パソコン講座に講師・サポーターを派遣しています。

設立10年目を迎えた昨年11月、KSNCはNPO法人格をとりました。これからは、会員が身に着けたパソコン技術や現役時代の経験・知識をもって、地域社会に貢献していくことがKSNCの目標です、と熱く語っていました。

創立10周年とNPO設立祝賀会の様子(上)いきいきシニアが大勢集まります。(下)

DATA

代表者 ● 佐藤英樹
連絡者 ● 小澤玉男
電話&ファクシミリ ● 042-322-4870
メール ● tam9214@jcom.home.ne.jp
ホームページ ● <http://www.ksnc.jp/>
会員数 ● 271人
会費 ● 年会費 3,000円 / 入会金 1,000円



小平こども劇場

「夏休みの最後の日曜日、ルネこだいら全体を使って、子どもたちがいろんな芸術文化に触れる機会をつくる」と聞いて出かけた。主催は2011ルネこだいら「芸術家と子どもたちとの出会い」フェスティバル実行委員会。それを構成する団体のひとつが小平こども劇場です。



内階段を飾る大きな絵。前々日に子ども達と武蔵野美術大学の学生達が一緒に作りました。

8月28日(日)9時前、ルネこだいら前には大学生を含む30人以上の大人が集まりました。前日夜遅くまで準備をしていた人たちです。10時、三小ソーランの子どもたちが揃いの半被で元気よく踊ってフェスティバルの幕開けです。館内では、合成写真を撮ってもらったり、宇宙人になる頭飾りを作ったり、布を裂いたひもを編んでネックレスや腕輪を作ったり、透明シートに絵を描いたり、インコの音楽隊と一緒に踊ったり、飛び出すカードを作ったり、透明な部屋に入っている絵描きのお兄さんを紙飛行機で埋めよう作戦に参加したり、人形劇や親子ファッションショーやお芝居の舞台を観たり...やってみたいことがいっぱいルネこだいらになりました。

「文化豊かな環境で育まれる感性は《生きる力》につながる」と小平こども劇場は考えて活動を続けてきました。実際の公演を見に行くと小平に呼んでくれます。だから、私たちは身近なところで良質の生の舞台を見ることが出来ます。また小平こども劇場では、異年齢の子どもたちで遊び合ったり、キャンプなど人と関わり合う体験もしているとのこと。それらの活動を通して、お互いを認め合い、他者と関わっていく力を育んでいると思いました。

DATA

入会金 ● 300円
月会費(前月納入) ●
正会員：4歳以上(子ども大人同額)1,500円、3歳以下100円
こころりん会員：大人1,500円、1~3歳500円、0歳100円
*こころりんは0歳~3歳の乳幼児を対象としたクラスです
申込み・問合せ ● 事務局(月~金10時~17時)
電話 ● 042-347-7211
住所 ● 〒187-0042 小平市仲町131 第一吉田マンション102
メール ● kodaira.kodomo.gekiyo@s2.dion.ne.jp
ホームページ ● <http://ab.auone-net.jp/~gekiyo/index.html>

NPO法人小平ハートピア

イギリスでは精神疾患が三大疾患の一つです。日本でも五大疾患の一つになり、心の病は深刻な課題になっています。心を病んでいる若者と家族の支援活動を13年続けている理事長の永瀬恒雄さんに聞きました。

「これまでやってきてわかったことですが、精神疾患の方、その家族に対する抜本的な政策が国にありませんでした。障害のある方を排除するのではなく、社会に参加、受容し、仕事と人生を創り出す支援です。」小平ハートピアでは、制度や地域の社会資源につながらない、埋もれた多くの心を病んでいる若者と家族への個別支援と、地域住民の理解を得るための市民啓発の二つを、活動の柱にしています。

市民啓発の目玉は、すぺーすまいらいふ&まいわーくの3連続講座です。①「英文で障害者権利条約を読もう」は、イギリス人のベル先生と一緒に国がなすべき義務を学びます。日本語では自立と訳されているIndependenceの本物の意味が独立であることを確認した喜びは格別です。②「心の実践的マネージメントを語り合う学習会」は、マネージメントの哲人・ドラッカーからセルフ・マネージメント(自己管理)の実践的方法を学びます。「意思決定なくして明日はない」など、成果につながる実践性に感動します。③「認知行動療法実践講座」は、センター病院心理療法師・稲森晃一先生の指導の下で、自分の気がつかない思いこみやとらわれに気づき、行動が活性化したり問題が解決することを体験できる講座です。



「認知行動療法実践講座」難しいですが、やさしく教えてくださいます。

DATA

【すぺーすまいらいふ&まいわーくの3連続講座】
①「英文で障害者権利条約を読もう」
毎月第2金曜19時~21時、元氣村・市民活動支援センター会議室
②「心の実践的マネージメントを語り合う学習会」
毎月第1水曜10時~12時、福祉会館第3集会室
③「認知行動療法実践講座」
毎月第3水曜10時~12時、福祉会館第3集会室
*いずれも定員10名、参加費無料
申込み・問い合わせ ● 永瀬 (042-401-8833)
*この事業は、真如苑市民活動助成事業です。
住所 ● 187-0013 小平市回田町198
電話 & ファクシミリ ● 042-401-8833
メール ● heartpia@wish.ocn.ne.jp